

農商工連携事業

アナ： 『市長が語る 2021 三島』 第 19 回の今日は、「農商工連携事業」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願ひいたします。

市長： よろしくお願ひいたします。

アナ： 今年も新物の三島馬鈴薯を使ったみしまコロッケが美味しい季節となりましたね。

市長： はい。

みしまコロッケが誕生して、今年 7 月で 14 年目を迎えました。

みしまコロッケの認定店も当初は 200 店舗程度でしたが、今では 4 倍以上の約 900 店舗に増え、みしまコロッケは全国、そして世界に広まっています。

これも、材料となる三島馬鈴薯の生産者の方々をはじめ、関係者の皆様や市民の皆様の熱意、努力、協力があってこそのことだと思ひます。

アナ： 三島馬鈴薯は、国の地理的表示保護制度にも登録されていますね。

市長： はい。

三島馬鈴薯は、品種はメークインでして、2016 年に地理的表示保護制度、通称「G I」といひますが、G I に県内で初めて登録されました。

この制度は、産品の名称を知的財産として保護するものでして、「夕張メロン」や「神戸ビーフ」などの有名な名称も「G I」に登録されています。

「三島馬鈴薯」は、長年培われた特別な作り方や地域の特徴が評価されて、登録に至りました。

このように国の制度のお墨付きを受け、三島馬鈴薯の認知度が上がることで、他の三島産の野菜についても、皆さんに注目していただけるようになってきたと感じています。

アナ： 確かに、近頃はテレビ番組にも取り上げられるなど、「箱根西麓三島野菜」の名前をよく見聞きするようになったと感じます。

市長： 標高 50 メートル以上で栽培される「箱根西麓三島野菜」は、水はけや風通しの良い適度な傾斜地で、涼しい空気のもと丁寧に育てられ、その品質は、市場から高い評価を受けています。

今後、更に P R に力を入れ、全国の皆様に三島野菜の美味しさを知っていただきたいと考えています。

アナ： 三島の野菜が使われた商品もたくさん出てきていますね。

市長： はい。

商工業者の方も、積極的に三島野菜などを使った商品を開発してくださっています。

生産者の方々にはより品質の高い農畜産物を育てる技術がありますし、
商工業者の方々には商品の開発力がございますので、三島市では、それぞれの
長所を生かした新商品の開発を支援しています。

これまでに、みしまコロッケをはじめ、カレーやパン、ドレッシング、ジャム、
スイーツ、ビールなど、さまざまな商品が開発されています。

アナ： 商品を通して、より三島の野菜が身近になりますね。友人や親戚にもお勧め
したくなります。

市長： 今週末の8月14日から22日まで、三島商工会議所では、
期間限定のオンラインショップを開設いたしまして、インターネットで、
三島市内のお店の選りすぐりの商品を組み合わせた「みしま応縁袋」を販売
する予定です。

前回、5月に開設した際には、箱根西麓三島野菜を使ったピクルスや
レトルトカレー、にんじんジュース、お菓子、アイスクリームのほか、伊豆名産
のわさびを堪能できる詰め合わせなど、30点の商品がお値打ち価格で販売され、
好評でした。

今回はどのようなラインナップとなるのか、私も大変楽しみにしております。

アナ： オンラインショップでいろいろ選べるのは、便利で嬉しいですね。

市長： はい。

ご自身やご家族で召し上がっていただくのはもちろんのこと、コロナ禍で
なかなか会えないご親戚やお友達への贈り物にもおすすめです。

送料が無料となっていますので、この機会にぜひご利用になってみてはいかが
でしょうか。

アナ： 送料無料というのはお得ですね。皆さん、ぜひ、三島商工会議所の
ホームページから「みしま応縁袋」をチェックしてみてください。

市長： 三島には、ご当地グルメとしておなじみの「みしまコロッケ」のほかにも、
箱根西麓三島野菜などの名産品を使った様々な商品があります。

飲食店でも多くのメニューを開発していますので、市民の皆様にも手に取って
いただき、また、召し上がっていただければと思っております。

アナ： 三島の誇る美味しい野菜、魅力的な商品の数々を多くの皆様に知っていただ
けることを期待しています。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。